

第5節 遊水地課

〔総括概要〕

遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会など庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、講演会の開催、各種イベントへのPRブースの設置等、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持っていただけるような事業を行った。また、ハートランド城の活用を図り、渡良瀬遊水地の役割や、広大な自然環境についてわかりやすく楽しく学んでもらうため、展示物・看板等の整備を行った。

環境保全については、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査として、植物の現地調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動を行った。そのほか、ヨシ原内の害虫駆除、樹林化防止等のため、ヨシ焼きを行った。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成として渡良瀬遊水地ボランティアガイドやヨシ細工指導スタッフ、カヌースタッフの養成講座を行ったほか、環境学習やスポーツなど渡良瀬遊水地を活用したイベントを実施した。また、渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全に取り組む“守り人”として行動し、未来につなげる活動を推進するため、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイツクラブの運営を行った。

企画調整係

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約登録湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、市町村長会議及び学習・交流会に参加した。

- ・実施日 11月19日（火）～11月20日（水）
- ・会場 アインパルラ浦島（宮城県大崎市）
- ・参加市町村 会員70市区町村のうち29市区町村
(ラムサール条約登録湿地52か所のうち25か所)

(2) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など46団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、各団体との情報共有・意見交換を行ったほか、各団体が遊水地内で実施するイベントへの参加を通じて渡良瀬遊水地の魅力等をPRするため、イベントシールラリーの

実施に向けた検討を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、栃木市が部会長となっている「賢明な利活用及び地域振興検討合同部会」において、ヨシ焼きの継続実施とヨシの新たな利用をテーマとして、具体的な取組の検討を行った。

第7回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 7月24日（水）
- ・会場 小山市 道の駅思川 小山評定館 研修室
- ・参加団体数 40団体

(3) 三県境事務担当者会議

栃木、群馬、埼玉の3県に跨る三県境について地域の観光資源として、板倉町及び加須市と連携して利活用を図るため、定期的に担当者による情報交換を行った。

(4) 地域おこし協力隊活動事業

渡良瀬遊水地及び周辺地域において、ラムサール条約湿地である豊かな自然環境を活かした地域おこしに資する活動を行うため、協力隊員1名を委嘱した。

2 渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1) 渡良瀬遊水地講演会

2月2日の「世界湿地の日」を記念して、ラムサール条約湿地である渡良瀬遊水地の湿地の恩恵や価値に目を向け、その維持と賢明な利用について広く啓発に努めるため、講演会を開催した。また、講演後には、ヨシ細工づくり指導スタッフの協力によりミニよしづくり体験を行った。

- ・実施日 2月1日（土）
- ・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城
- ・来場者数 70人
- ・講師 ラムサールセンターフェロー 中村玲子氏
- ・演題 アジアの湿地はおもしろい～湿地の恵みが人々の暮らしをゆたかにする～

3 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。また、市民交流の場として、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
279	5,680	123,275

1 渡良瀬遊水地の環境保全

(1) 渡良瀬遊水地クリーン作戦

渡良瀬遊水地の美化促進及び自然環境の意識高揚を図るため、地域住民及び一般利用者が参加し、清掃活動を実施した。

実施日	場所	参加者	収集量
4月13日（土）	渡良瀬遊水地 第1調節池	630人	一般ゴミ 1.2 t 粗大ゴミ 0.8 t 産廃ゴミ 0.4 t

(2) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。

実施日	場所	人数	保全植物
4月24日（水）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	7人	ノジトラノオ
5月18日（土）	渡良瀬遊水地 第2調節池内	200人	タコノアシ他
6月26日（水）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	16人	ノジトラノオ
10月14日（月・祝）	渡良瀬遊水地 第2調節池内	中止※	タコノアシ他

※令和元年東日本台風による出水のため

(3) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるが、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。そこで、ラムサール条約湿地登録後の生態系調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供するため、生育の状況や環境についての必要な調査をし、生育位置図などの資料を作成する委託業務を実施した。

(4) 環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占有している環境学習池（ハート池）があり、池内は約20種類の絶滅危惧種植物が生育している特異な場所であるため、雑草を定期的に刈り取り、良好な生育環境の保全を行った。

(5) ヨシ焼き

害虫の駆除、樹林化の防止及び治水容量の確保のため、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。ヨシ焼きは、野火や放火などの火災防止となるほか、多くの貴重植物などの発芽・生育を促進し、遊水地固有の豊かな自然環境の保全にも寄与している。

- ・実施日 3月21日（土）
- ・関係者数 約830人
- ・見学者数 約2,600人
- ・焼却面積 1,000ha（7割）

(6) 出前講座

- ・実施日 5月27日（月）
- ・会場 栃木文化会館
- ・対象団体 地域クリーン推進員連合会 約100人
- ・テーマ 渡良瀬遊水地の絶滅危惧種の保全について

2 渡良瀬遊水地の利活用

(1) 環境学習

ア 夏のわくわく大作戦

実施日	場所	参加人数	内容
6月22日（土）	史跡保全ゾーン及び谷中湖	47人	・希少種探しゲーム・観察 ・Eボート体験 ・サイクリング ・ミニよしずづくり

イ 親子水辺教室（ラムサール条約登録記念日事業）

実施日	会場	参加者数	内容
7月20日（土）	谷中湖及び体験活動センターわたらせ	20人 (6組)	カヌー体験、ヨシ細工づくり体験、水質調査

ウ チュウヒのねぐら入り観察会

実施日	会場	参加者数	内容
1月25日（土）	ハートランド城～第1調節池内ヨシ原	20人	チュウヒの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2) 渡良瀬遊水地フェスティバル2019

谷中湖の水位上昇及び台風接近のため中止した。

- ・実施予定日 7月28日（日）
- ・会場 谷中湖北ブロック子供広場ゾーン
- ・主催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・内容 自転車競技のタイムトライアル、スカイスポーツやウォータースポーツの体験や展示等（予定）

(3) 秋の三県越えポタリング（令和元年東日本台風による出水のため中止）

渡良瀬遊水地ガイドクラブの案内により、谷中湖周辺をサイクリングで巡るイベントを企画した。

実施予定日	コース	申込人数	主な見学場所
10月19日（土）	谷中湖周辺	30人	三県境、中の島、谷中村役場跡等

(4) 第20回渡良瀬遊水地フォトコンテスト

- ・主催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
- ・後援 下野新聞社ほか
- ・賛助 （一社）関東地域づくり協会
- ・応募者 140人（338点）

- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞1点、準優秀賞2点、入選8点、特別賞8点
佳作12点
 - ・巡回展示 渡良瀬遊水地湿地資料館、渡良瀬遊水地ハートランド城他
- (5) 「渡良瀬ナイツクラブ」の運営
- 治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につながることを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。
- ・会員数 一般会員 142人
特別会員 6人
サポート店 2店
 - ・ナイツクラブ通信発送回数 4回

ハートランド城係

1 渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7・8月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

ア 栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示

- ・掲示期間 6月21日～7月4日、7月13日～31日

イ 栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

- ・掲示期間 6月21日～7月31日

ウ 渡良瀬遊水地ぐるり旅開催

- ・実施日 7月3日（水）、8月7日（水）
- ・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城～遊水地内
- ・参加者 31人

エ ヨシ灯りワークショップ開催

- ・実施日 8月10日（土）
- ・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城
- ・参加者 12人

オ つばめのねぐら入り観察会開催

- ・実施日 8月20日（火）、8月23日（金）
- ・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城～遊水地内
- ・参加者 24人

(2) 湿地の恵み展への出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議及び関係団体と連携して、9月12日（木）・13日（金）に東京都が主催した『湿地の恵み展—美しい・おいしい・楽しいに会う—』に職員4人を派遣し、ミニよしず作り体験、チラシ配布によるPR活動を行った。

- ・実施日 9月13日（金）

- ・会 場 新宿駅西口広場
- ・来場者数 2日間で延べ12,000人

(3) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

藤岡地域会議提案事業として、駐車場側フェンスに渡良瀬遊水地のキャラクターのイラストを追加した。また、渡良瀬遊水地を代表する植物「ワタラセツリフネソウ」などをモチーフにした新キャラクターを制作し、PRに活用した。キャラクターの作画は、栃木女子高等学校美術部の生徒に依頼した。

(4) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

平成26年度に制作した^{ハーツ}Hearts姫、^{わたらせナイフ}Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

また、着ぐるみの貸出に関する内規を定め、より多くのイベント等で活用できる体制を整えた。

2 渡良瀬遊水地ハートランド魅力アップ事業

藤岡地域が一丸となって渡良瀬遊水地ハートランドの魅力を内外へ発信するため、藤岡地域会議提案事業として、公共施設等に掲げる横断幕を作成、配布した。利用者が多い施設には顔出しパネルを設置して楽しんでもらうと同時に、遊水地で楽しめるレジャー・スポーツをPRしている。シンボル施設であるハートランド城には、渡良瀬遊水地キャラクターを用いたフラッグやフェンスイラストを設置することで、来訪者の目印とした。

(1) 横断幕

- ・設置場所 市有施設 16か所、民間幼稚園 2か所

(2) 顔出しパネル

- ・設置場所 藤岡総合支所、道の駅みかも、渡良瀬の里、藤岡保健福祉センター

(3) フラッグ形看板

- ・設置場所 ハートランド城壁面 6か所、ハートランド城北側駐車場 9か所

(4) 目隠しフェンスパネル

- ・設置場所 北側駐車場からハートランド城へ向かう通路脇のフェンス

3 人材育成

(1) 人材育成

ア 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

- ・実施日 5月～2月の第3木曜日（10月は令和元年東日本台風による出水のため中止）
- ・内容 渡良瀬遊水地の役割、歴史、自然について
- ・会場 ハートランド城、体験活動センターわたらせ、他
- ・参加者 9人
- ・回数 9回

イ ヨシ細工指導スタッフ養成講座

- ・実施日 10月～12月の第1水曜日、及びイベント時
- ・内容 ヨシ細工の製作方法とヨシの生育および水質浄化作用について
- ・会場 ハートランド城 他
- ・参加者 5人
- ・回数 6回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動におけるスケジュール調整や組織運営の支援を行った。また、ガイド申込書の受付業務も行った。

・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合計
日数(日)	211	103	314
利用者数(人)	2,938	1,540	4,478

(3) ヨシ細工指導スタッフの活動支援

養成講座修了者の活用を図り、ミニよしず作りやヨシ紙すきを取り込んだイベントを企画した。また、個人や団体の体験希望に対応する体制を構築し、さらなる活用を図った。

・ヨシ細工指導スタッフ活動実績

	参加イベント数	体験申込数	合計
件数(件)	10	4	14
参加者数(人)	178	44	222

4 ハートランド城管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。

(2) 施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
23	1,183	10,200